



ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県議会
無所属
県民会議



埼玉県マスコット「コバトン」 川口市のマスコット「きゅぼらん」

発行責任者

無所属県民会議川口支部岡村ゆり子

〒332-0031

埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F

048-229-0530

令和7年度予算特別号

いつもありがとうございます。多くの皆様にお支えいただきお陰様で**議員生活10年**が経過しました。様々な課題に取り組み、お役に立てた時の喜びや政策が実現できた時の達成感など日々やりがいを感じています。特に県議会議員となり、埼玉県全体をみることができました。川口市は東京都に隣接し、政令指定都市であるさいたま市に埋没しないよう埼玉県のリーディングシティとして暮らしやすいまち、誇れるまちであり続けなくてはならないと強く感じています。

引続き政党に属することなく、県民目線・市民目線の政策提案を行い、現場第一主義で邁進してまいります。頑張ります！！

さて、今号は令和7年度予算特別委員会についてや新規事業について等ご報告いたします。

令和7年度予算特別委員会

埼玉県議会令和7年2月定例会は、2月19日(水)から3月27日(木)まで行われました。予算特別委員会では、各会派の所属人数により質疑時間が割り振られており、部局別審査では連日質疑に立ち、総括質疑では知事に対し、**里親委託推進事業について、認知症医療支援体制の充実について**問いました。質疑内容をご報告いたします。(一部抜粋)

3月11日 総務部・県民生活部

・**スポーツインライフ推進事業** →パラアスリートを招いてのレクリエーション大会の開催の参加者が増えるよう、開催時期や場所の検討を問いました

3月12日 福祉部

- ・**聴覚障がい児聴能訓練事業費** →一般質問で取り上げ言語聴覚士の増員が図られるようになりました
- ・**共生社会づくり推進事業** →ヘルプマークの配布方法について問いました
- ・**障がい者芸術・文化活動推進費** →企画展でのワークショップの開催の可能性について問いました
- ・**社会的養育の充実** →里親委託率について問いました

3月13日 保健医療部

- ・**がん患者支援の推進** →小児がんについての理解促進について問いました
- ・**認知症医療支援体制整備事業費** →認知症疾患医療センターの増設について問いました



3月14日 教育委員会

- ・**特別支援学校の過密対策** →会派で視察し要望してきた県立和光南特別支援学校の全面改築に向けた基本設計等の予算がつけました
- ・**優秀な教員の確保** →大学生への働きかけについて問いました

3月17日 警察本部

- ・**県民の暮らしの安全確保に向けたトルコ語部内通訳人の育成** →一般質問で取り上げ2か年で6名育成されることとなります
- ・**地域防犯活動推進費** →防犯指導班「ひまわり」の体制強化について問いました



歴史的課題への挑戦と未来への躍進

①歴史的課題への挑戦

- ・人口減少・超少子高齢社会の到来
- ・激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応

②「日本一暮らしやすい埼玉」の 着実な実現

一般会計 2兆 2,308 億 9,000 万円 前年度比 +5.2%

(全会計合計 3兆 7,017 億 9,232 万 7 千円) 前年度比 +4.1%

主な新規事業

一部新「渋谷MIX」におけるイノベーションの創出 3億9,537万2千円

出合い、つながり、共創する
イノベーション創出拠点



渋谷MIX

埼玉初! 令和7年夏 開設予定
@さいたま新都心

【設備】・コワーキングスペース・個別ブース
・ラウンジ・イベントスペース 等



DENTSU LIVE INC. & TAKEARCHITECTS Co., Ltd. (タイクアーキテクト)

◆ スタートアップの創出・成長支援

- シード期(起業前)及びアーリー期(起業初期段階)のスタートアップを対象に短期集中型の伴走支援プログラムを実施

新 アーリー期向け伴走支援プログラム

- ・事業成長に向けた伴走支援
- ・支援金の支給(100万円×5件)
- ・成果報告会の開催



渋谷って、埼玉らしい



スタートアップ挑戦プログラム説明会

◆ オープンイノベーションの創出・促進

- 中小企業等を対象とした意識醸成セミナー、ワークショップを実施
- 社会課題や企業課題を協業により解決する「共創プログラム」を実施

新 共創プログラム

- ・企業同士のマッチングによる協業の伴走支援
- ・協業プロジェクトに対して支援金を支給(500万円×15件)

ホスト企業

県内中小・SU

パートナー企業

全国の企業

大・中堅企業

県内中小・SU

◆ イノベーションを担う人材の育成

- 大学生を対象とした起業伴走プログラムを実施

- アントレプレナーシップ教育推進のための大学間ネットワークの運営

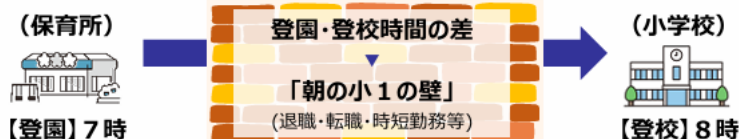


CEOチャレンジビジネスプランピッチ

新規 朝のこどもの居場所づくり 557万4千円

解説

- ・「朝の小1の壁」を解消するため、
- 小学校始業前の朝の時間にこどもを預かる場を整備
- モデル事業に取り組む市町村へ補助(補助率2/3)



今年度は志木市2校、毛呂山町2校をモデル校とし、小学校で本来の登校時間前に、見守り員を配置して始業まで小学校低学年をお預かりします。

保育所へ子どもを預けられた時間よりも小学校の登校時間が遅く、この為に保護者が退職、転職などする必要性に迫られることがあったことから、「小1の壁」と言われ社会問題になっています。

新規 工業高校と地域による未来共創プロジェクト 2,002万4千円

解説

- ・工業高校5校にコーディネーターを配置
- ・人材育成コンソーシアムの設置による、地域との協働による職業教育の充実
- 産業界等と連携したカリキュラムの研究・開発
- 地域産業を担う人材の継続的な育成・輩出

昨年の一般質問で工業高校の環境整備や教員の質の向上について取り上げました。

地域における産業界と工業高校の持続的な連携体制を確立していきます。大宮工業高校を先導校とし、東西南北1校ずつで行います。「県立川口工業高校」も選ばれており、教員実技研修、小中学校との連携も更に力を入れていくものです。

一部新 特別支援学校の整備

14億4,969万9千円

解説

・障害のある児童生徒の**教育環境の充実**

事業内容	設置場所（開校・校舎供用予定年度）	受入規模
新校設置	新 県東部地域特別支援学校（仮称）（R12） ＊再編整備後の県立八潮高等学校跡地	250人
	新 県西南部地域特別支援学校（仮称）（R11） ＊ふじみ野市立東台小学校跡地	150人
既存校の改築	新 県立和光南特別支援学校（R12）	160人増
既存校の増築	県立川口特別支援学校（R8・R10）	174人増



＜過去の特別支援学校整備例＞

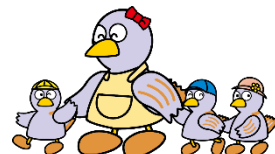


＜県立川口特別支援学校校舎増築工事完成イメージ＞

深刻化している特別支援学校の教室不足や老朽化に対応するため、「県立八潮高校」「ふじみ野市立東台小学校」の跡地を利用して、それぞれに小中高校部合わせて250名、150名前後を受け入れる特別支援学校を設置する基本設計を始めます。

また、既に定員を超えている「県立和光南特別支援学校」については、**所属会派「無所属県民会議」**で現場確認のための視察を行い、**県教育委員会に問題提起と状況の改善要望を行っていました。**

そして、「県立川口特別支援学校」については、北棟と中央棟の2棟を増築します。**増築によりプールがなくなってしまったので、しっかりと水泳の時間を確保できるように、周辺の施設や学校との連携を予算特別委員会で問いました。**



新規 警察活動の強化

4億899万6千円

解説

拡 警察官の増員

全国最多

・全国476人の増員のうち、**175人**の増員

- サイバー空間における対処能力強化
- 匿名・流動型犯罪グループに対する戦略的な取締りの強化



サイバー空間犯罪や特殊詐欺にみられるような匿名・流動型犯罪グループへの対応として、埼玉県警察官定数を**175人増員し11,699人**としました。

今年度川口警察署には**3人**、武南警察署には**2人**それぞれ増員となります。

新規 民生委員の担い手確保

3,741万円

解説

・市町村が実施する、民生委員の負担軽減や担い手確保に向けた取組を支援

- 民生委員をサポートする**協力員制度**の導入
- オンライン会議・研修など、タブレットを活用した民生委員**活動の効率化**



民生委員は、担当する区域において、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯の見守りや安否確認などにも重要な役割を果たしています。

全国的にみても欠員が生じている状況です。仕事内容の精査や負担軽減、担い手確保が喫緊の課題となっています。

新規 公共交通・物流分野での女性活躍の促進

8,174万8千円

解説

・**女性**が働きやすい環境整備に対する支援（女性専用のトイレ、更衣室、休憩室等）



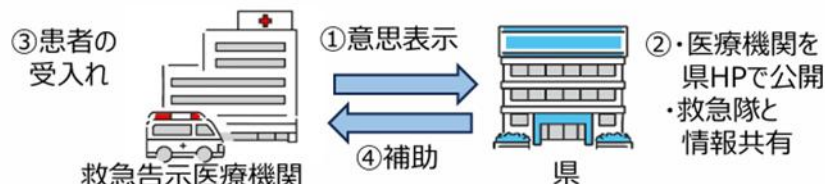
物流業界の人手不足対策に対応するための支援で、女性ドライバー採用の促進が期待されています。

中小企業には補助率1/2・上限額200万円

小規模企業者には補助率2/3・上限額266万6千円

◆ 75歳以上の搬送困難患者の受入体制強化

・受入要請3回以内に受け入れるための体制確保への補助



埼玉県の救急搬送の約7割は75歳以上の方が占めています。この中で、特に搬送が難しかった75歳以上重症救急患者を積極的に受け入れる医療機関には、埼玉県が補助をします。



解説

◆ 夜間の小児初期救急患者の受入体制整備

・22時から翌8時に受入れを行う拠点医療機関2か所の運営を補助



これまでの「小児二次輪番病院」などに加えて、新たに22時から翌8時まで入院が不要な子供の軽症者を受け入れる拠点医療機関を県内2か所に整備します。これまでは、「小児二次輪番病院」が同時時間帯に、入院が不要な軽症者と中等症以上の患者を受け入れていましたが、今後は「小児二次輪番病院」の負担を軽くし効率的な医療体制となることが期待されています。



- 全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催する国土緑化運動の中心的行事です。
- 昭和25年に「第1回植樹行事並びに国土緑化大会(第21回大会からは「全国植樹祭」が正式名称)」として山梨県甲府市で開催されて以来、各都道府県において毎年春季に開催されています。
- これまでの大会では、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、県内外からの多くの参加者と共に、式典行事や記念植樹が行われています。
- 埼玉県では、昭和34年の第10回以来66年ぶりとなる第75回全国植樹祭を令和7年5月25日(日)に開催！

埼玉県の特色を活かした大会の基本方針

- (1) 全国植樹祭の開催を契機として、豊かなみどりを県民全体で次の世代に引き継ぐという機運を高めて、緑化運動と森林資源の循環利用を推進し、SDGsにも繋がる機会となる大会にします
- (2) 埼玉県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力を全国に向けて発信します
- (3) 県民全体で「おもてなしの心」でお迎えし、全国植樹祭に参加される方の心に残るような大会となるよう努めます

式典会場・植樹会場: 秩父ミュージックパーク(秩父市・小鹿野町)

サテライト会場: エミテラス所沢(所沢市)・深谷テラスパーク(深谷市)・モラージュ菫蒲(久喜市)

埼玉県議会議員 岡村ゆり子 プロフィール

- 昭和56年4月、川口市東内野に生まれる
- 川口市立差間小学校・北中学校・私立恵泉女学園高等学校、フェリス学院大学文学部卒業、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科修了
- 父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務(2014年7月に退社)
- 2015年5月～2019年3月 川口市議会議員
- 2019年4月～2023年4月 埼玉県議会議員(1期目)
- 2023年4月～埼玉県議会議員
- 所属委員会 総務県民生活常任委員会 経済・雇用対策特別委員会
- 趣味 スポーツ観戦(Jリーグ開幕以来、浦和レッズ一筋。アヴェントゥーラ川口も応援しています) ターゲットバードゴルフ、グランドゴルフ、ミニテニス(身体を動かすことが好きです。川口マラソンも走ります)
- 好きな食べ物 ラーメン、チョコミント味のもの
- 好きな言葉 志あるところに道は開ける

